

滋賀県病院協会報



発行所
一般社団法人 滋賀県病院協会
大津市京町四丁目3-28
(滋賀県厚生会館)
TEL 077-525-7525
http://sbk.co-site.jp/
発行人 会長 片岡 慶正

平成26年度(第34回)滋賀県病院大会 盛会裡に終る

平成26年度(第34回)滋賀県病院大会は、去る2月8日(日)に、滋賀県知事、滋賀県議会議長、滋賀県医師会長様をはじめ多くのご来賓をお迎えし、今回初めて栗東市にある栗東芸術文化会館「さくら」の中ホールにて盛大に開催された。

式典は10時30分から始まり、滋賀県病院協会 長尾会長の開会挨拶に続いて各種表彰式が執り行われた。まず病院業務功勞者知事表彰は、ご出席の三日月知事より、受賞者3名に一人ずつ賞状と記念品が授与されその労をねぎらわれた。(受賞者は4面に掲載)

続いて病院協会優秀職員会長表彰受賞の12名(勤務の都合で3名欠席)には、長尾会長より賞状と記念品が授与された。また、同一病院で15年以上勤務歴がある方への永年勤続会長表彰には、46名が該当し、式典は無事終了した。

11時30分から12時30分までの特別講演には、滋賀医科大学医学部附属病院 病院長 松末吉隆先生においていただき「これからの急速な高齢化社会への進展が進む折、健康寿命を伸ばすことが求められており、本日は、(詳細は2面をご参照ください。)



午後からは、シンポジウム『院内感染対策の取り組み』院内連携・院外連携』が開催された。学術担当の宮下理事(近江八幡市立総合医療センター病院長)が座長で、シンポジスト5名による発表と討議が行われた。(詳細は下段参照)

平成26年度滋賀県病院大会シンポジウム

「院内感染対策の取り組み」院内連携・院外連携」

近江八幡市立総合医療センター 院長 宮下 浩明

昨年、「エボラ出血熱」が猛威を振るう世界を震撼させ、国内では「デング熱」が話題となった。このような輸入感染症だけが脅威ではなく、もっと身近に「院内感染」という厄介なものがある。平成24年名大病院NICU入院中の新生児がMRSA感染防止対策加算1、2が、連携病院には「院内感染防止対策地域連携加算」が、診療報酬として認められている。しかし院内感染対策は報酬の問題ではない。患者は恐怖心を克服して手術を受け、副作用に耐えながら癌化学療法を受けている。少し

でも良くなり、一日でも早く日常生活に戻りたい、家族の待つ家に帰りたい、と思って入院してくる。それが病院内で、他の患者や職員の手を介して予期せぬ感染症にかかり苦しんでいったとしたらどうだろう。院内感染対策には、診断、細菌検査、薬剤感受性、消毒法、予防対策、情報共有などがあげられるが、それぞれのセクションが個別に対応しても問題は解決しない。

今回のシンポジウムでは、県内の医療機関から現場で感染対策に取り組んでおられる各職種のスペシャリストに登壇していただき、院内感染対策は、組織横断的の活動が不可欠であるが、各部署では意見の食い違いや連携不足により苦勞が絶えない現状がある。このシンポジウムを機会に円滑な活動が可能になり、不幸な院内感染が少しでも減少することを切に願う。

者へ高度な医療を提供できる態勢、そして豊富な症例を若手小児科医が研修できる体制を滋賀県内でも数か所必要とします。当院のような二次救急病院小児科は今後どのように活躍していくか。地域

小児の救急医療体制について

守山市民病院 院長 野々村和男



昨年4月に院長に就任してから職務上高齢者の医療に携わることが多くなりましたが、小児科医としての30年間の経験を踏まえ小児の救急医療について述べたいと思います。

当院が位置する湖南圏域は、滋賀県内7つの医療保健圏域の中でも小児科医を擁する病院が多く、小児の救急対応については比較的恵まれた地域と言えます。この圏域で小児の二次救急医療を担当する病院小児科医の代表が集まり、平成21年より自主的に「湖南圏域小児救急医療医師連絡会議」を開くようになりました。草津保健所にまとめ役をお願いし、草津栗東と守山野洲の両医師会や滋賀医大小児科の代表者の参加も得て、湖南圏域を主とする小児の救急医療の体制作りなどについて年に3-4回、時間も忘れる議論を展開してきました。年間を通じて小児二次救急医療体制を空白日

のように診療していくかという課題については、医師会の先生方のご尽力と湖南保健圏域の四市の行政と滋賀県、そして滋賀医科大学の小児科医局のご協力により昨年4月

に専念できる診療の分担が良好に経過しています。一方で新しい休日急病診療所では、他圏域からの受診者も増え、患者の待ち時間の長さや診療担当医師の負担の重さなどの

次救急受診の仕方などを解説して回りましたが、今後も自宅で可能な急病を担える医療機関への小児科医の集約化も重要な方向性と考えます。充実したスタッフで重症患

の診療所などと連携した入院診療体制を保持しながら、それぞれの医師の専門性を生かした診療も重要となるでしょう。前述の出前講座なども含め、病院の外へ活躍の場を広

平成27年度

一般社団法人滋賀県病院協会

通常総会のご案内

日時 平成27年5月27日(水)

15時30分～17時

会場 大津プリンスホテル

コンベンションホール 淡海

病院大会特別講演

(第5回県民公開講座) について

長浜赤十字病院 院長 濱上 洋

今年の病院大会の特別講演は、滋賀医科大学整形外科教授で、昨年附属病院長に就任した関節外科の大家の松末吉隆先生に、超高齢社会を迎えて関心の高まるロコモティブ症候群について紹介して頂きました。

まず、日本では団塊の世代が全て75歳以上の後期高齢者となる2025年にむけて対策が進められているが、平均寿命の延伸に比べて健康寿命(介護を受けたら、寝たきりになったりせずに自立して健康に生活できる期間)がさほど伸びてない問題について話されました。平均寿命と健康寿命との差は男性で9年、女性で13年もあり、この差を縮めることが重要である。寝たきりや要介護状態になる原因は、脳卒中や認知症等の脳機能障害が上位を占めているが、骨折や関節疾患などの運動器疾患によるものの割合も大きい。また痛みなく歩行等の日常生活を送れることがQOLの向上に大切であると強調された。

そこで日本整形外科学会は「運動器の障害のために要介護になっていたり要介護になる危険性の高い状態」をロコモティブ症候群(以下ロコモ)と定義し、骨・関節・筋肉などの運動器の重要性について啓蒙している。しかしメタボリック症候群(いわゆるメタボ)に比してその認知度は低く、これを広く周知して将来国民の80%にまで増加させることを目指している。ロコモに関係する運動器疾患として変形性関節症がきわめて頻度が高く、変形性脊椎症が有病者3800万人(うち有症状者1100万人)、変形性膝関節症は有病者2600万人(うち有症状者800万人)も居るとのこと。更に骨粗鬆症も脊椎の圧迫骨折による腰背部痛でADLの障害を来とし、大腿骨近位部骨折を生ずれば運動機能の低下、要介護の原因となることが多い。

後半には各論として変形性膝関節症・腰部脊柱管狭窄症・肩腱板損傷・骨粗鬆症・大腿骨近位部骨折等の運動機能の低下を来する代表的な疾患の病態や治療について、県民公開講座らしく分かりやすく解説して頂きました。

一生痛みなく自分の足で歩き、自分のことは自分でできる、誰もがこのような長寿を願っていますが、一旦ロコモを来すと上記の疾患に罹った場合、その診断・治療・リハビリにより速やかに回復させることが我々病院の使命でありましょう。分かりやすく、興味深い講演をして頂いた松末吉隆先生に深謝いたします。

松末 吉隆氏

滋賀医科大学医学部附属病院病院長
滋賀医科大学副学長 理事(医療担当)

プロフィール

平成13年3月 滋賀医科大学 整形外科教授

17年4月 滋賀医科大学附属病院 副院長就任

25年4月 滋賀医科大学附属 図書館長就任

26年2月 滋賀医科大学副学長・理事(医療担当) 附属病院長 現在に至る



平成26年度院内感染防止対策研修会について

市立長浜病院 看護局 感染管理認定看護師 中村 寛子



12月11日に「平成26年度院内感染防止対策研修会」を、滋賀県病院協会と滋賀県感染制御ネットワークの主催にて開催させて頂きました。この研修会は、滋賀県内の医療従事者に対し、医療関連感染防止を目的として、毎年、講師の先生をお招きして開催しています。

参加頂き、皆様の感染防止に対する意識の高さが伺えました。

第1部は、医療法人永広会法人本部島田病院 感染管理認定看護師 森下幸子先生に「標準予防策を周知するための工夫としてひらめき」と題して講演して頂きました。

第2部は、滋賀医科大学付属病院 消化器・血液内科 小泉祐介先生に「HIV/AIDSを知らずしていませんか?」という問いかけから、HIV/AIDS患者を見る機会が増加することが予測され、施設対策を強化することが求められると感じました。

今回は、実践現場に役立つ講演をして頂きましたが、多くの方々に参加頂き、研修会が成功できたことは、今後の滋賀県での医療関連感染防止に繋がると幸いです。最後になりましたが、貴重なご講演を頂きました、森下先生、小泉先生に感謝申し上げます。



平成26年度看護部長研修会に参加して

高島市民病院 看護部長 小谷 清美



平成27年1月16日(金) 滋賀県病院協会看護部長研修会がコラボしが21において開催されました。

今年度は、関西医科大学 精神神経科学教室 教授 木下利彦先生による「うつ病の変遷と統合失調症の世界」のテーマで講義があり、県内の看護部長をはじめ副部長・看護師長など51病院から94名の参加がありました。

講演は、中世の画家アルレーゲル作品など多くの絵画を通して、うつ病の変遷を知り統合失調症の世界に触れることが

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

高島市民病院 看護部長 小谷 清美

研修医および若手医師のためのフォーラム



大津市民病院 研修医
渡邊 幸香

平成26年12月13日に大津プリンスホテルにおいて滋賀県と滋賀県病院協会主催、滋賀県医師会後援の第6回「研修医および若手医師のためのフォーラム」が開催されました。

今回のテーマは「感染症診療」と「地域医療」で、独立行政法人国立国際医療研究センター病院・国際感染症センター長の

大曲 貴夫先生

金丸 吉昌先生

独立行政法人国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター長

宮崎県美郷町地域包括医療局 総院長
今世六感塾 顧問



郷町地域包括医療局総院長・今世六感塾顧問の金丸吉昌先生にご講演頂きました。

療の奥深さがあり、また患者様に貢献するため医師としての頑張りどころがあると感じました。

本フォーラムは、医師となった自分のスキルや気持ちの持ち方を振り返る医師になりたいと改めて思いました。



滋賀県自殺対策連絡協議会 会長
琵琶湖病院 理事長・院長
石田 展弥

平成27年2月24日、ピアザ淡海において、自殺予防対策研修会を開催いたしましたので、ご報告いたします。

協会の31病院と長浜保健所、県障害福祉課から参加され、総数90名を数えました。今回は、2部構成とし、1部は、日本医科大学武蔵小杉病院精神科教授岸泰宏先生にご講演いただき、2部では、県精神保健センター所長辻本哲士先生、大津市保健所臨床心理士奥田由子先生、長浜赤十字病院精神科副部長藤村俊雅先生、メープルクリニック院長佐藤啓二先生、4氏にシンポジストとして発表いただき、その後、4氏に加え岸先生も加わっていただき総合討論をしていただきました。開会のあいさつは、長尾会長にお願いし、総

報告していただきました。佐藤先生には、ご自身の経験された症例について考察され、精神科病院との連携のみならず、経済問題を含めたケースワーカーの必要性についてお話しくださいました。総合討論では、未遂者の主治医と救急病院との連絡連携をどのようにしてゆくか、一般科のスタッフの対応を向上させるために臨床救急医学会のPEECガイドブック（今回参加者に配布）や同会の研修会の有用性などについて、討論が行われました。長時間にわたりましたが、参加者の皆さんは熱心に聞いてくださっていました。

平成26年度（第11回）暴力団等不当要求防止対策研修会に参加して



医療法人友仁会
友仁山崎病院 事務長
中岡 克宏

平成27年1月27日（火）14時から、滋賀県病院協会主催（後援 滋賀県警察本部・公益財団法人滋賀県暴力団追放推進センター）「平成26年度（第11回）暴力団等不当要求防止対策研修会」がコラボしが21の3階大会議室において開催されました。今回は県内44病院から69名の参加者でした。

研修会は ①最近の暴力団情勢について ②医療機関における不当要求対策について、③ビデオ視聴「明日を拓く勇気」という内容でありました。県内における暴力団の現状としては、暴力団組織数及び暴力団員等の人員は平成25年12月末現在、7団体約140人で、そのすべてが山口組系の暴力団です。ここ数年は組織数、暴力団員数共に減少傾向になっているようですが、暴力団員は新たな手法で資金獲得活動をしており、暴力団が絡む犯罪は後を絶たないそうです。これらの犯罪の被害者にならないためにもそれぞれが過信することなく日頃から関心を持ち、「暴対法」と「暴排条例」に目を向けることが大切であることを再認識させていただきました。

医療機関で起こり得る不当要求については、暴力・損壊・金銭要求・クレーム・迷惑行為等の多岐にわたって考えられますが、不当要求が起る原因としては相手側の問題、はもろろんありますが、医療機関側にも問題があるようです。応対時の言葉遣いや態度、担当者の知識不足、意見・要望等を無視する、担当者任せにする等が考えられます。これらを防止するためには日頃の教育訓練は大変重要であり、また、個人だけではなく組織として

弱みを見せない体制づくりが大切とのことでした。1対1の対応ではなく、組織としての毅然たる態度の対応が不当要求防止に繋がるとのことでした。今回の研修会に参加させて頂き、いつ起こるか分からない暴力団等からの不当要求に対し、今一度、組織体制づくりの重要性を認識させていただきました。またマニュアル等を見直す機会を与えて頂きましたことに感謝いたします。

弱みを見せない体制づくりが大切とのことでした。1対1の対応ではなく、組織としての毅然たる態度の対応が不当要求防止に繋がるとのことでした。今回の研修会に参加させて頂き、いつ起こるか分からない暴力団等からの不当要求に対し、今一度、組織体制づくりの重要性を認識させていただきました。またマニュアル等を見直す機会を与えて頂きましたことに感謝いたします。



平成27年度（第29回）ソフトボール大会
日時：平成27年9月23日（水・祝日）
雨天の場合 9月27日（日）
会場：高島市今津総合運動公園



2014年12月作成（NI-4/1）

非プリン型選択的キサンチンオキシダーゼ阻害剤 一高尿酸血症治療剤一 薬価基準収載

ウリアデック錠

20mg 40mg 60mg

URIADec® 20・40・60 (トピロキソスタット錠)

● 処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量に関連する使用上の注意」等は添付文書をご参照ください。

製造販売元
株式会社 三和化学研究所
名古屋市中区東外堀町35番地 〒461-8631
● ホームページ <http://www.skk-net.com/>

資料請求先・問い合わせ先
コンタクトセンター
0120-19-8130
受付時間：月～金 9:00～17:00(祝日は除く)

受賞おめでとうございます

(病院協会からの推薦者のみ)

※平成26年度公衆衛生事業功労者表彰

○日本公衆衛生協会会長表彰

(平成27年3月19日)



長浜市立湖北病院 院長
伊達 成基氏



済生会滋賀県病院 副院長
重松 忠氏



大津赤十字病院
呼吸器外科部長
山中 晃氏



長浜市立湖北病院 副院長
田中 新司氏

○公益財団法人滋賀県健康づくり財団理事長表彰
(平成27年2月15日)



守山市民病院
放射線技術科科長
西村 直人氏



セフィロト病院 副院長
横野 文氏



草津総合病院 名誉院長
木之下正彦氏



大津赤十字病院
第一整形外科部長
田縁 千景氏



大津市民病院 副院長
三島 誠悟氏

※平成26年度病院業務功労者知事表彰
(平成27年2月8日)

※平成26年度滋賀県病院協会優秀職員会長表彰



平成26年度(第34回) 滋賀県病院大会

新任病院長の紹介

(平成27年2月1日付)

○医療法人芙蓉会南草津病院 院長代行
遠藤 郁氏

(平成27年3月1日付)

○医療法人徳洲会近江草津徳洲会病院 院長
青嶋 寛氏
(順不同)

感染制御ネットワークだより (36)

介護サービス事業者等感染対策

推進事業について

滋賀県感染制御ネットワーク運営委員会委員

公立甲賀病院

感染制御室長

木下

桂

入所や通所、訪問による介護サービスを利用する高齢者の増加に伴い、事業所の数も増え、高齢者が安心して生活が送れるように整備されてきています。しかしその一方で、インフルエンザ等のアウトブレイクがこれ

らの事業所ではしばしば報告されており、施設内での感染拡大については懸念されるところです。もちろん、各事業所では、感染防止対策を講じ、実施されていると思います。このような中、滋賀県は、介護サービスにおいて高齢者の皆様が安心して快適な生活が送れるように「介護サービス事業者等感染対策推進事業(以下事業)」を平成27年1

この事業についてご紹介させていただきます。この事業は滋賀県から「一般社団法人 滋賀県病院協会」に委託され、その主な実働は滋賀県感染制御ネットワークと県内の感染管理認定看護師が担います。実施年数は平成26年度より3年間(平成28年度まで)の予定とし、事業内容は毎年見直しを行う予定ですが、平成26年度は、①「介護サービス事業者等感染管理リスクマネジメント研修会」の開催と、②同事業所に対する出前講座を行い、①については、大

津市と米原市で研修会を開催いたしました。②の出前講座については、依頼をされた事業所を対象に、3月末までに8施設を訪問しました。研修会は感染防止対策の基本を中心に希望されるテーマ(疥癬の予防対策や嘔吐物の処理方法等)に沿った内容にし、講義や演習ラウンドも含め、その施設の特長に合わせた具体的な感染防止対策を提案させていただきました。医療機関(特に急性期医療機関)での在院日数短縮に伴い、患者さんは退院後、事業所等で介

護サービスを受ける機会が増えています。患者さんは医療現場から介護現場へシフトしていきますが、医療機関と同様に介護サービス事業所等においても感染防止対策業務を欠かすことはできません。確かに、事業所等においては、侵襲的処置は少ないといえますが、病原体保有者(MRSA陽性者等)の利用やインフルエンザ等の流行は、いつ発生するかわかりません。これらのことを踏まえると、正しい知識と判断の元に、基本的な感染予防対策が日々の業務

【ご逝去を悼む】
故 宮脇英夫 先生
(医療法人社団英和会宮脇病院 理事長・院長)
永年にわたり当協会の事業の推進にご尽力を頂きました宮脇英夫先生が、平成27年3月11日に逝去(85歳)されました。ここに哀悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

3月8日(日)に、滋賀県の臨床研修病院13病院の合同説明会が開催された。合同説明会は、今年度で3回目となるが、今までと大きく趣を変え、湖上と現場で考える『滋賀県地域医療フォーラム2015』と題し、琵琶湖のクルーズ船「ピアンカ」を会場に開催した。事前の申し込みも上々で当日は、県外・県内併せて約90名の医学生が参加を頂いた。セミナーの講師は浅井東診療所長の松井善典先生。先生ご自身も新医師臨床研修制度を経て医師となった経験から、研修病院を決める際の留意点や、家庭医を目指すための経緯等をお話しいただいた。その後の各病院からのプレゼンもそれぞれ工夫され、活気のかで、参加した学生さんからは、「印象に残った一日。新しい発見があった。琵琶湖がきれい!」とのコメントあり。翌日の9日(月)には、13病院を3グループに分け、バスにて各病院訪問を行った。平成27年度も、「同フォーラム2015・夏」として学生さんの希望の多い6月(27・28日)に開催します。

【滋賀県地域医療フォーラム2015】
ピアンカ船上で開催!!
3月8日(日)に、滋賀県の臨床研修病院13病院の合同説明会が開催された。合同説明会は、今年度で3回目となるが、今までと大きく趣を変え、湖上と現場で考える『滋賀県地域医療フォーラム2015』と題し、琵琶湖のクルーズ船「ピアンカ」を会場に開催した。事前の申し込みも上々で当日は、県外・県内併せて約90名の医学生が参加を頂いた。セミナーの講師は浅井東診療所長の松井善典先生。先生ご自身も新医師臨床研修制度を経て医師となった経験から、研修病院を決める際の留意点や、家庭医を目指すための経緯等をお話しいただいた。その後の各病院からのプレゼンもそれぞれ工夫され、活気のかで、参加した学生さんからは、「印象に残った一日。新しい発見があった。琵琶湖がきれい!」とのコメントあり。翌日の9日(月)には、13病院を3グループに分け、バスにて各病院訪問を行った。平成27年度も、「同フォーラム2015・夏」として学生さんの希望の多い6月(27・28日)に開催します。

MIYAGAWAINSATSU

Direction

伝えたい想いが伝わるようきめ細かに、トータルにサポートします。

「より効果的な販促・広告戦略はないか?」「もっとデジタル媒体を活用していきたい」「紙媒体の特性を活かした印刷提案がほしい」「メッセージ性のある印刷物でしっかりとPRしたい」

お客様の様々なニーズや課題に、持てるノウハウや技術、経験やアイデアを駆使して最適なソリューションを提供するのが、私たちの「ディレクション」の力です。

宮川印刷株式会社

〒520-0846 滋賀県大津市富士見台3-18
TEL:077-533-1241 / FAX:077-534-0846
MAIL:info2@miyagawainsatsu.co.jp miyagawainsatsu.co.jp

2013年9月に規制緩和され「医療広告ガイドライン」が更新されました。医療広告も宮川印刷におまかせください。